



毛網毅曠ミニ展示

## 描かれた毛網建築

2023(令和5)年11月9日(木)～26日(日)

釧路市出身の建築家・毛網毅曠（1941～2001）は、釧路市立博物館やフィッシャーマンズワーフMOO、釧路市湿原展望台など、釧路のシンボルとなる独創的な建築をいくつも作り上げてきました。このミニ展示では、毛網毅曠の初期代表作《反住器》の設計図（青焼き、複製）とともに、当館が所蔵する毛網建築が描かれた絵画、釧路を拠点に活躍する人気イラストレーター遠藤理子さんの作品4点をあわせてご紹介します。

毛網建築に創作意欲を刺激された3人の画家たちによる、個性あふれる作品をお楽しみください。

主催：北海道立釧路芸術館

会場：北海道立釧路芸術館 フリーアートルーム



### 出品リスト

※ No.4～7は作者蔵。その他は当館蔵。

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm) 縦×横
1	毛網 モン太 (毛網 毅曠)	《反住器》設計図 (複製)			
2	羽山 雅愉	黄昏・釧路 (00-3)	2000 (平成12)	アクリル絵具、油彩 キャンバス	130.3×194.0
3	ビン カシワ	フィッシャーマンズ・ワーフ (釧路)	1988 (昭和63)	アクリル絵具 キャンバス	130.7×162.0
4	遠藤 理子	反住器	2023 (令和5)	アクリル絵具 ベニヤ板	36.4×25.7
5	遠藤 理子	釧路市湿原展望台	2022 (令和4)	アクリル絵具 ベニヤ板	29.7×21.0
6	遠藤 理子	MOO	2018 (平成30)	アクリル絵具 木製パネル	36.4×25.7
7	遠藤 理子	釧路市立博物館	2018 (平成30)	アクリル絵具 木製パネル	36.4×25.7